



## 2024年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年5月10日

上場会社名 株式会社遠藤製作所

上場取引所 東

コード番号 7841 URL <http://www.endo-mfg.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡部 大史

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経理財務部担当

(氏名) 石原 睦

TEL 0256-63-6111

四半期報告書提出予定日 2024年5月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年12月期第1四半期の連結業績(2024年1月1日~2024年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	4,329	11.2	477	71.0	487	57.9	354	86.7
2023年12月期第1四半期	3,892	12.0	279	52.3	308	55.0	189	68.2

(注) 包括利益 2024年12月期第1四半期 430百万円 (10.6%) 2023年12月期第1四半期 481百万円 (62.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第1四半期	40.48	
2023年12月期第1四半期	21.68	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第1四半期	24,107	20,224	83.9
2023年12月期	24,018	19,970	83.1

(参考) 自己資本 2024年12月期第1四半期 20,224百万円 2023年12月期 19,970百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年12月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期		0.00		20.00	20.00
2024年12月期(予想)		0.00		20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,500	8.0	625	4.7	650	7.7	460	2.9	52.55
通期	16,600	5.7	1,250	6.2	1,300	13.1	850	11.4	97.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年12月期1Q	9,441,800 株	2023年12月期	9,441,800 株
期末自己株式数	2024年12月期1Q	688,311 株	2023年12月期	688,311 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年12月期1Q	8,753,489 株	2023年12月期1Q	8,750,018 株

(注)期末自己株式には、役員株式給付信託(BBT)制度の信託口が所有する当社株式が含まれております(2024年12月期1Q156,300株、2023年12月期1Q64,800株)。また、役員株式給付信託(BBT)制度の信託口が所有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(2024年12月期1Q94,707株、2023年12月期1Q64,800株)。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、諸外国によるインフレに伴う金融政策の影響等があり円安が進行したほか、ウクライナや中東における諸情勢を発端とした、世界情勢の不安定な状況は継続しており、原材料や原油、エネルギー価格等の高騰が長期化しており極めて厳しい状況にあります。

このような状況のもと、当社グループは安定した製品の供給を維持できるよう生産能力の強化を実施し、生産の効率化による原価低減に努めました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は43億29百万円（前年同期比11.2%増）となりました。利益面につきましては、ファインプロセス事業のゴルフ分野における既存のモデル及び新モデルの受注が堅調に推移したこともあり、営業利益4億77百万円（同71.0%増）、経常利益4億87百万円（同57.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益3億54百万円（同86.7%増）となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

当第1四半期連結累計期間より、マネジメントアプローチによる経営の意思決定の迅速化を図るため、事業や市場の特性等を踏まえ、事業ポートフォリオを再構築し「ファインプロセス事業」と「メタル事業」の2報告セグメントへ変更しております。「ファインプロセス事業」では、日本の本社においてゴルフ、医療機器、航空機の各分野において研究開発体制を推進し、高付加価値製品の市場開拓を強化してまいります。「メタル事業」では、タイ工場での一貫生産によるモビリティ及び複合機部品の分野における量産型の金属製品を製造、販売しており生産コストの最適化と安定的な供給強化により更なる市場拡大を図ってまいります。前期比較につきましては、前年数値を変更後の報告セグメントに組み替えた数値と比較しております。

（ファインプロセス事業）

ファインプロセス事業につきましては、ゴルフ市場は、今年秋以降の主要取引先の新製品発売に向けた製造段階にあり、当第1四半期連結累計期間では昨年比で、出荷は減少いたしました。概ね当初計画通りに推移いたしました。航空機分野では、航空業界の旅客及び物流における需要が本格的に回復したことに伴い、当社の航空機製品の受注が堅調に推移いたしました。医療機器分野では、医療供給体制が通常に戻りつつあり、当社の人工関節製品の新製品及び既存製品の受注が堅調に推移いたしました。その結果、ファインプロセス事業の売上高は、21億63百万円（同18.3%増）となりました。利益面につきましては、生産効率の向上及びサプライチェーンの安定化に努めた結果、ファインプロセス事業の営業利益は、3億35百万円（同3.3%増）となりました。

（メタル事業）

メタル事業につきましては、鍛造製品では、タイ自動車市場が、当第1四半期連結累計期間において生産台数の減少傾向がみられるものの、受注は堅調に推移しております。メタルスリーブ製品では、複合機市場において、複合機の出荷が順調に推移いたしました。その結果、メタル事業の売上高は、21億66百万円（同4.9%増）となりました。利益面につきましては、原材料費及び電力費等の上昇が一段落し、さらに、生産コストの最適化と安定的な供給に努めた結果、メタル事業の営業利益は、3億19百万円（前年同期比150.7%増）となりました。

### （2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、241億7百万円となり、前連結会計年度末に比べ88百万円増加いたしました。

流動資産は、153億56百万円となり、前連結会計年度末に比べ70百万円減少いたしました。この主な要因は、現金及び預金、電子記録債権、その他流動資産が減少したこと等によるものであります。固定資産は、87億51百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億59百万円増加いたしました。この主な要因は、建設仮勘定及び投資有価証券、退職給付に係る資産が増加したこと等によるものであります。

負債合計は、38億83百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億65百万円減少いたしました。

流動負債は、27億25百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億27百万円減少いたしました。この主な要因は、その他流動負債が減少したこと等によるものであります。固定負債は、11億58百万円となり、前連結会計年度末に比べ62百万円増加いたしました。この主な要因は、繰延税金負債及び退職給付に係る負債、役員株式給付引当金等が増加したこと等によるものであります。

純資産合計は、202億24百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億53百万円増加いたしました。この主な要因は、利益剰余金及び為替換算調整勘定、資本剰余金が増加したこと等によるものであります。

### （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年2月14日の決算短信で発表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期業績予想に変更はありません。

なお、業績予想数値は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって記載の業績数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,937,868	8,407,615
受取手形及び売掛金	2,996,169	3,457,065
電子記録債権	355,214	277,091
有価証券	100,000	100,000
商品及び製品	794,516	846,748
仕掛品	861,511	943,589
原材料及び貯蔵品	1,204,842	1,239,729
その他	195,164	105,571
貸倒引当金	△18,311	△21,104
流動資産合計	15,426,975	15,356,307
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,631,654	2,574,704
機械装置及び運搬具（純額）	1,931,765	1,878,855
工具、器具及び備品（純額）	182,214	177,312
土地	1,629,043	1,635,433
建設仮勘定	255,070	401,307
有形固定資産合計	6,629,747	6,667,613
無形固定資産		
無形固定資産	98,703	108,730
投資その他の資産		
投資有価証券	924,260	1,000,321
投資不動産（純額）	232,368	231,877
退職給付に係る資産	560,033	586,512
繰延税金資産	129,557	140,081
その他	16,957	16,018
投資その他の資産合計	1,863,176	1,974,811
固定資産合計	8,591,628	8,751,156
資産合計	24,018,604	24,107,463

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,422,917	1,559,034
短期借入金	100,000	100,000
未払法人税等	103,276	136,305
未払金及び未払費用	477,952	536,131
賞与引当金	138,332	306,429
その他	710,071	87,443
流動負債合計	2,952,551	2,725,343
固定負債		
長期借入金	175,000	150,000
繰延税金負債	302,241	357,206
退職給付に係る負債	536,611	554,702
役員株式給付引当金	60,521	72,079
その他	21,573	24,131
固定負債合計	1,095,947	1,158,119
負債合計	4,048,498	3,883,462
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,241,788	1,241,788
資本剰余金	1,220,643	1,273,463
利益剰余金	14,500,317	14,678,337
自己株式	△294,875	△347,695
株主資本合計	16,667,874	16,845,893
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,344	35,670
為替換算調整勘定	3,353,172	3,424,502
退職給付に係る調整累計額	△76,285	△82,065
その他の包括利益累計額合計	3,302,231	3,378,107
純資産合計	19,970,105	20,224,000
負債純資産合計	24,018,604	24,107,463

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 （四半期連結損益計算書）  
 （第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2023年1月1日 至 2023年3月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2024年1月1日 至 2024年3月31日）
売上高	3,892,285	4,329,245
売上原価	3,201,615	3,421,325
売上総利益	690,670	907,920
販売費及び一般管理費	411,573	430,794
営業利益	279,097	477,126
営業外収益		
受取利息	10,331	13,999
受取配当金	25	26
投資不動産賃貸料	2,664	2,727
為替差益	7,405	26,301
その他	33,884	6,378
営業外収益合計	54,310	49,432
営業外費用		
支払利息	519	394
持分法による投資損失	8,453	4,535
投資不動産賃貸費用	3,752	1,795
投資事業組合運用損	7,711	30,601
その他	4,200	1,638
営業外費用合計	24,637	38,965
経常利益	308,770	487,593
税金等調整前四半期純利益	308,770	487,593
法人税、住民税及び事業税	88,539	89,108
法人税等調整額	30,497	44,168
法人税等合計	119,037	133,277
四半期純利益	189,733	354,315
親会社株主に帰属する四半期純利益	189,733	354,315

（四半期連結包括利益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2023年1月1日 至 2023年3月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2024年1月1日 至 2024年3月31日）
四半期純利益	189,733	354,315
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	354	10,325
為替換算調整勘定	298,948	71,329
退職給付に係る調整額	△7,827	△5,779
その他の包括利益合計	291,476	75,876
四半期包括利益	481,209	430,191
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	481,209	430,191
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

1. 簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算出方法

減価償却の方法として定率法を採用している固定資産の減価償却費については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

I. 前第1四半期連結累計期間（自 2023年1月1日 至 2023年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ファインプロ セス事業	メタル事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	1,828,309	2,063,976	3,892,285	—	3,892,285
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客に対する売上高	1,828,309	2,063,976	3,892,285	—	3,892,285
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	212,888	212,888	△212,888	—
計	1,828,309	2,276,865	4,105,174	△212,888	3,892,285
セグメント利益	325,103	127,593	452,697	△173,600	279,097

（注） 1. セグメント利益の調整額△173,600千円には、セグメント間取引の消去△26,105千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△147,494千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ. 当第1四半期連結累計期間（自 2024年1月1日 至 2024年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ファインプロセス事業	メタル事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	2,163,163	2,166,082	4,329,245	—	4,329,245
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客に対する売上高	2,163,163	2,166,082	4,329,245	—	4,329,245
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	241,469	241,469	△241,469	—
計	2,163,163	2,407,551	4,570,715	△241,469	4,329,245
セグメント利益	335,684	319,931	655,615	△178,489	477,126

(注) 1. セグメント利益の調整額△178,489千円には、セグメント間取引の消去△14,870千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△163,618千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する情報

当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの名称を従来の「ゴルフ事業」、「メタルスリーブ事業」、「鍛造事業」から「ファインプロセス事業」、「メタル事業」へ変更しております。

当該名称変更が顧客との契約から生じる収益を分解した情報に与える影響はありません。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを記載しております。